

## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社

コード番号 5476 URL <http://www.koshuha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 晃二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務企画本部長 (氏名) 村越 久人 TEL 03-5687-6025

四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	22,722	12.6	592	173.9	605	163.1	458	153.9
2022年3月期第2四半期	20,185	39.0	216	-	230	-	180	△85.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 448百万円 (144.7%) 2022年3月期第2四半期 183百万円 (△86.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	31.27	-
2022年3月期第2四半期	12.32	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	42,561	15,707	36.9	1,071.82
2022年3月期	39,335	15,259	38.8	1,041.20

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 15,707百万円 2022年3月期 15,259百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

※当社は定款において9月30日（第2四半期末日）及び3月31日（期末日）を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	10.3	500	△5.7	500	△14.3	400	△4.2	27.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	14,687,617株	2022年3月期	14,687,617株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	32,445株	2022年3月期	32,384株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	14,655,202株	2022年3月期2Q	14,655,509株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	10
3. 第2四半期決算概要	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響があったものの、徐々に経済活動の制限が緩和され、景気は持ち直しの兆しが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や円安による原燃料の市況上昇、部品調達難による生産活動の停滞などが継続しました。

こうした経済環境の中、当社グループにおいては、原燃料価格の市況上昇に合わせ販売価格の改善やコストダウンに取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高227億2千2百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益5億9千2百万円（前年同期比173.9%増）、経常利益6億5百万円（前年同期比163.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億5千8百万円（前年同期比153.9%増）となりました。

各セグメント別の業績は次のとおりであります。

## [特殊鋼]

特殊合金、軸受鋼等の売上数量が減少したものの、販売価格の改善等により売上高は166億5千5百万円（前年同期比12.0%増）となりました。損益面では、原燃料等の市況上昇の影響があるものの、販売価格の改善等から営業利益は6億6千3百万円（前年同期比245.1%増）となりました。

## [鑄鉄]

トラック等の商用車向け売上数量が減少したものの、販売価格の改善等により売上高は54億9百万円（前年同期比19.0%増）となりました。損益面では、販売価格の改善があるものの、原燃料等の市況上昇の影響や固定費増加等から営業利益は1百万円（前年同期89.0%減）となりました。

## [金型・工具]

自動車向け金型の売上高が減少し、売上高は6億5千7百万円（前年同期比14.0%減）となり、72百万円の営業損失（前年同期は7百万円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、棚卸資産の増加等により前連結会計年度末に比べ32億2千6百万円増加し、425億6千1百万円となりました。

負債合計は、短期借入金の増加により前連結会計年度末に比べ27億7千8百万円増加し、268億5千4百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により前連結会計年度末に比べ4億4千8百万円増加し、157億7百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ15億8千9百万円増加し、17億5千8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増加や棚卸資産の増加等により、7億7千6百万円の支出（前年同期は14億6千4百万円の収入）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産取得による支出等により、1億円の支出（前年同期は3億7百万円の支出）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

借入金の増加等により、24億6千6百万円の収入（前年同期は15億9百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績は営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益に重要な差異が発生しております。その差異内容等については、本日公表の「2023年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

また、当期末の業績予想については2022年8月2日に公表した予想から下記の通り修正しております。

## ①2023年3月期の通期連結業績予想

売上高	46,000百万円	(前回予想	48,000百万円)
営業利益	500百万円	(前回予想	600百万円)
経常利益	500百万円	(前回予想	500百万円)
親会社株主に帰属する 当期純利益	400百万円	(前回予想	400百万円)

## ②変更の理由

売上数量の減少により売上高は減少する見込みです。また、売上高の減少等により営業利益が悪化するものの、支払利息等を見直した結果、経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想から変更がないものと見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	155	125
受取手形及び売掛金	8,687	9,173
製品	2,966	3,618
仕掛品	5,994	5,977
原材料及び貯蔵品	6,369	7,386
その他	157	1,753
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	24,317	28,020
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	4,785	4,464
土地	5,335	5,335
その他（純額）	2,705	2,736
有形固定資産合計	12,827	12,537
無形固定資産	175	144
投資その他の資産		
投資有価証券	847	788
その他	1,222	1,128
貸倒引当金	△55	△57
投資その他の資産合計	2,014	1,860
固定資産合計	15,017	14,541
資産合計	39,335	42,561

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,003	3,706
電子記録債務	4,538	4,996
短期借入金	7,669	10,361
未払法人税等	82	122
賞与引当金	413	427
営業外支払手形	115	205
その他	1,906	1,790
流動負債合計	18,730	21,611
固定負債		
長期借入金	350	210
再評価に係る繰延税金負債	971	971
退職給付に係る負債	3,768	3,827
その他の引当金	107	117
その他	148	115
固定負債合計	5,346	5,242
負債合計	24,076	26,854
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,721	12,721
利益剰余金	503	961
自己株式	△39	△39
株主資本合計	13,185	13,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148	120
土地再評価差額金	2,202	2,202
退職給付に係る調整累計額	△277	△258
その他の包括利益累計額合計	2,073	2,063
純資産合計	15,259	15,707
負債純資産合計	39,335	42,561

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	20,185	22,722
売上原価	18,221	20,274
売上総利益	1,964	2,448
販売費及び一般管理費	1,747	1,855
営業利益	216	592
営業外収益		
受取配当金	37	57
受取賃貸料	6	8
その他	10	10
営業外収益合計	54	75
営業外費用		
支払利息	25	51
売上債権売却損	8	6
その他	6	4
営業外費用合計	40	62
経常利益	230	605
特別利益		
投資有価証券売却益	—	25
特別利益合計	—	25
特別損失		
固定資産処分損	7	9
特別損失合計	7	9
税金等調整前四半期純利益	222	621
法人税、住民税及び事業税	14	56
法人税等調整額	27	106
法人税等合計	42	162
四半期純利益	180	458
親会社株主に帰属する四半期純利益	180	458



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	180	458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△28
退職給付に係る調整額	14	18
その他の包括利益合計	2	△9
四半期包括利益	183	448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183	448
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	222	621
減価償却費	642	616
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	137	68
その他の引当金の増減額 (△は減少)	3	12
有形固定資産処分損益 (△は益)	7	9
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△25
売上債権の増減額 (△は増加)	△343	△489
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△250	△1,651
仕入債務の増減額 (△は減少)	800	161
その他	215	△91
小計	1,434	△767
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	29	△8
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,464	△776
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△310	△190
投資有価証券の売却による収入	—	45
利息及び配当金の受取額	37	57
その他	△34	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307	△100
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△531	2,712
長期借入れによる収入	210	—
長期借入金の返済による支出	△1,125	△160
リース債務の返済による支出	△11	△11
設備関係割賦債務の返済による支出	△26	△26
自己株式の取得による支出	△0	△0
利息の支払額	△25	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,509	2,466
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△351	1,589
現金及び現金同等物の期首残高	932	169
現金及び現金同等物の四半期末残高	580	1,758

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項（1）に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

（高周波精密株式会社の事業再構築について）

2022年4月28日取締役会で決議した当社の100%子会社の高周波精密株式会社（以下、高周波精密）の事業再構築について、希望退職者の募集とグループ内の他の子会社との統合・移転に向け準備を進めておりますが、事業再構築計画の見直しを検討することといたしました。

1. 変更の理由

希望退職者を募集いたしました。希望退職者が当初想定以上に多く、事業再構築計画全体にわたり見直しを検討することといたしました。

2. 今後の見通し

今後、事業内容・事業規模や統合・移転時期について再検討を行います。このため、従業員の退職に伴い発生する割増退職金等や、統合・移転に伴う移転費用等につきましては現時点では未確定です。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	14,875	4,545	764	20,185	—	20,185
外部顧客への売上高	14,875	4,545	764	20,185	—	20,185
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51	2	1	54	△54	—
計	14,927	4,547	765	20,240	△54	20,185
セグメント利益	192	16	7	216	—	216

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	16,655	5,409	657	22,722	—	22,722
外部顧客への売上高	16,655	5,409	657	22,722	—	22,722
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36	—	0	37	△37	—
計	16,692	5,409	658	22,759	△37	22,722
セグメント利益又は損失(△)	663	1	△72	592	—	592

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

## 3. 第2四半期決算概要

2022年10月31日  
日本高周波鋼業株式会社

## 2023年3月期 第2四半期決算概要

## 連 結

## 1. 当四半期の業績（累計）と通期予想 (単位：百万円)

摘要	当期 23年3月期 第2四半期	(対前年同期)		前年同期 22年3月期 第2四半期	通期予想 22年3月期
		増減額	増減率		
売上高	22,722	2,537	12.6%	20,185	46,000
営業利益	592	376	173.9	216	500
経常利益	605	375	163.1	230	500
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	458	277	153.9	180	400
設備投資	295	50	20.7%	244	860
減価償却費	616	△25	△4.0%	642	1,230

## 2. セグメント別売上高・営業利益（累計）

## 【製品・サービス別】

(単位：百万円)

摘要	当 期		前年同期		増 減	
	23年3月期第2四半期		22年3月期第2四半期		売上高	営業利益
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
特殊鋼	16,655	663	14,875	192	1,780	471
鋳鉄	5,409	1	4,545	16	863	△14
金型・工具	657	△72	764	7	△107	△80
計	22,722	592	20,185	216	2,537	376

## 【海外売上高】

(単位：百万円)

摘要	当 期		前年同期		(対前年同期)	
	23年3月期第2四半期		22年3月期第2四半期		増減額	増減率
	売上高	連結売上高比	売上高	連結売上高比		
アジア	3,021	13.3%	2,871	14.2%	150	5.2%
その他の地域	106	0.5%	79	0.4%	27	34.6%
計	3,128	13.8%	2,950	14.6%	177	6.0%
連結売上高	22,722		20,185		2,537	12.6%

## 3. 経常利益増減益要因（前年同期比）

(単位：億円)

増 益 要 因	金額	減 益 要 因	金額
1. 販売価格改善	35	1. 原燃料等市況上昇	31
2. 売上数量・構成	1	2. その他	1
計 (A)	36	計 (B)	32
		差引 (A)-(B)	4